

ギャラリー恵風

ニューズレター

2011.5

5月10日(火) - 5月15日(日)

ものうみ AQUART 企画 奄美復興支援展

『AQUART』とは、海の素晴らしい環境資源をアートと共に発見し、美術・環境への意識をたかめていこうという目的のもとに、これまで奄美大島の瀬戸内町にある嘉鉄集落を中心に展覧会を開催し、昨夏で13回目を迎えました。その奄美大島では、昨年10月に大雨が降り、大きな被害を受けました。奄美のために何かこの京都でできることはないのだろうか？ そういった思いから私たちは、チャリティー展覧会を計

画いたしました。この展覧会での売上金は全額奄美大島瀬戸内町に寄付する予定でしたが、東日本大震災後、瀬戸内町の申し入れにより東日本大震災へ寄付させていただきますことになりました。
(代表)

【展示作家】

岩本好弘、おーはた香世子、片山 侑胤、桂秀也、新田恭子、林塔子、ばんばまさえ、藤本哲夫、ホンマノリコ、室田泉、大手裕子、北原かおる、やのまこと、木内小織、栗原知枝、小巻幹夫、山本昌代

5月17日(火) - 5月29日(日) ※5/23(月) 休廊

山本 晋 油絵 銅版画展

— 遺伝子たち —

舞いおりるイメージを固定化するためスケッチを重ねる。支持体 - キャンバス、板、紙などに、物質 - 絵の具、インクと時間を積層する。イメージが遠のき、声がとどかなくなると制作行程の終わりが近づく。完成はないのかもしれない。御高覧いただけたら幸いです。(山本)

山本 晋 / Shin Yamamoto

立命館大学 法学部 中退

個展 32回

近年

2005 平安画廊(京都) | 2006 三越(名古屋)

2007 萬翠荘(京都) | 2008 グランツ(東京 日本橋)

2009 キタノ(京都) | 2010 グランツ(東京 日本橋)

2F

5月10日(火) - 5月15日(日)

山田 修作 陶展

私は食事が長い。夕食はテーブルの前を1時間以上離れない。家族はもう諦めているが、時々昼食を共にする知人等には評判が悪い。彼等にいつも、食べてない時間が多過ぎると言われる。それでも毎回食べ終わるのは一番遅い。そうなのだ、私は会話をし乍らだらだと料理を食べる時間が好きだ。料理が、食事が、5分でも長くなる器を私は作りたい。(山田)

山田 修作 / Shusaku Yamada

1975 京都市立芸術大学陶磁器科卒業

1976-78 八木一夫の助手を務める

個展

2001 EN陶RE(神戸)

黒田陶苑(03・東京)

2002 ギャラリーにしかわ(07・京都)

2003 あかまんま(05,07,09・群馬)

2005 手児奈(07,09・名古屋)

2005 器夢工房出演(NH KBS・総合テレビ)

2009 ギャラリー猫亀屋(大阪)

5月17日(火) - 5月22日(日)

下 千映子 展

育花雨〜いくかう〜

花時に先がけて降る雨のことを『育花雨』と言います。春らしい響きが好きです。一粒一粒の雨が一つの花(命)を咲かせるためのエネルギーとなる。そこに静かに湧きあがる生命力を感じます。3月の「東日本大震災」以降、悲惨なニュースを目にし、命について生きることについて考えさせられました。被災地に、人の心に、再び美しい花が咲き乱れる日が訪れることを祈って。一筆一筆、一色一色でいねいに描いていきたいと思い制作しています。(下)

下 千映子 / Chieko Shimo

京都市生まれ 京都市在住

1997 より元永定正氏に師事

1998 成安造形大学洋画クラス研修課程修了

1999 以降 京都、東京、神奈川、兵庫、大阪にて個展

1998 芦屋市展 芦屋市教育委員会奨励賞

2005 芦屋市展 審査委員特別賞

2008, '09 上野の森美術館大賞展

その他 国内外の公募展、グループ展に多数出品

成安造形大学(元)非常勤講師

アトリエS主宰

5月24日(火) - 5月29日(日)

新井 九紀子 展

— ことばの肖像 —

作品の素材となるのは、言葉です。心魅かれてやまない物語や詩や句。ときには、音楽であったりもするのですが。私は、長い間「書」の世界にいました。やがて、そういう文学作品を持つ、妖しく、危うい、此岸と彼岸を往還するような感情まで、表現したくなりました。「書」において、余白といわれる不可知。深遠、無限の世界を、我々は言葉によって、掘り起こし、わずかに感触し得ているのではないかと思います。その言葉の妙な連鎖である文学作品が、私を通して変容する様を、「ことばの肖像」と名付けています。(新井)

新井 九紀子 / Kukiko Arai

2002 日仏現代作家展

2003 吉原治良賞コンクール展

さかいで Art グランプリ展

2004 プリンツ 21 グランプリ賞展

日本アートアカデミー賞展

2005 サロン・ドトロン展 | サリュ展

2007 ~書と非書の際展

1996 ~個展 12回

出品作品

「橋円の肖像」エドガー・アラン・ポー

「一千一秒物語」稲垣足穂 「永訣の朝」宮澤賢治

「読書する女」レイモン・ジャン 等20点

緑のそよ風が心地良い頃になりました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

未曾有の震災により改めて私たちは、生を見つめ直すことになりました。アートは、疲れた心をいやし、やすらぎや勇気を与えてくれる心の栄養です。すぐに成果は見えないけれどアートの力を信じ、一日一日を大切に精一杯生きて行きたいものです。

さて、5月の展覧会のご案内を申し上げます。

2日~9日は休廊させていただきます。

10日から1階のギャラリーでは、東日本大震災復興支援展を開催します。共に時代を生きる同伴者としてささやかですが義援金としてお役に立てたら幸いに存じます。どうか皆様のご協力をお願い申し上げます。17日から、山本晋さんの油絵と銅版画展。マイペースで独自の世界を表現します。

2階の方では10日から山田修作さんの器展。貴方にとって食事が楽しくなる器が見つかりますように。17日からは、さわやかな色彩、瑞々しい感性あふれる下千映子さんの個展。恵風では3回目になります。今回はどんな「れいんどろっぷ」が現れるでしょうか。24日からは、新井九紀子さんの「言葉の肖像」。恵風では2回目の個展、書の世界から更にふみ込み新しい世界へ誘ってくれます。

豊かな時間を求めて、ぜひご来場賜りますよう心よりお待ちしております。

敬具 野村恵子

今後のスケジュール

<1F ギャラリー>

5/31 ~ 6/12 牧野浩紀 展

6/14 ~ 6/19 石橋静 陶展

6/21 ~ 7/3 岸雪絵 展

<2F ギャラリー>

5/31 ~ 6/5 版画4人展

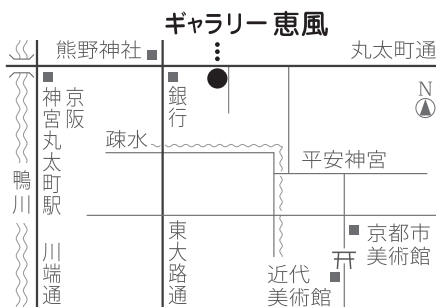
(科野和子 武田あずみ 西住恵子 目良真弓)

6/7 ~ 6/12 トウラ モイラネン 展

6/14 ~ 6/19 佐々木友恵 漆展

6/21 ~ 7/3 精華の陶・版画 展

アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅

より徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分

OPEN: 12:00~19:00 (最終日 18:00まで)

月曜休廊

発行: ギャラリー恵風

発行日: 2011.4.20.

〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL:075-771-1011 FAX:075-771-0358

E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp

URL: http://keifu.blog86.fc2.com